

学童の現状を伝え、理解と協力を広げよう

今年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたなか行われる、県西部では 4 年ぶり、浜北区では 8 年ぶりに開催の研究集会！静岡全县から、学童保育を利用する児童と保護者、運営する行政関係者や運営関係者と指導員、それに学識経験者や議員の方々が、2016 年 1 月 24 日(日)浜松市浜北区浜北文化センターに集います。



そもそも、研究集会ってなに？

「研究集会」というと難しく聞こえますが、『学童保育の今を知りこれからについて学び交流する会』と言えばどうでしょうか。静岡県内に学童保育が誕生したのが 53 年前の 1962 年。学童保育を作り運動を前進させるためにクラブ間の連絡・調整と連携を進めるために連絡協議会をつくり、充実と発展を目指して 1989 年 1 月「第 1 回静岡県学童保育のつどい」が静岡市で開催されました。以後、ほぼ毎年開催され今回で 25 回目を迎えます。

準備、運営は県連協と実行委員会で

主催は NPO 法人静岡県学童保育連絡協議会（県連協）ですが、県を東部・中部・西部・静岡の 4 地区に分けた持ち回り制で、1 年ごと各地域で実行委員会を結成し準備を進めます。

西部地域の中では旧浜松市地域と浜北地域が交代で主会場を担当します。前回西部地域担当集会が 2012 年 2 月 19 日に浜松学院大学で開催され、今年度は浜北区の浜北文化センターが主会場となります。



実行委員会結成！

西部地域の学童保育関係者で 2014 年 12 月から準備会で会場確保等の準備を進めてきました。そして、2015 年 5 月 10 日に NPO 法人学童保育はまきたの 13 クラブから 18 名の保護者、NPO 法人理事長含め、保護者 OB や指導員、それに旧浜松市の保護者 OB や指導員、県連協役員ら 27 名の参加で実行委員会を開催・結成しました。実行委員長には、学童保育はまきた「たんぼぼクラブ」保護者の森上さんを選出し、チラシ・ポスター作成を同じく学童保育はまきた「パンサークラブ」保護者の渡辺さんが引き受けてくれました。

8 月を除き毎月実行委員会を開催し、記念講演講師や分科会の内容などを検討しました。

研究集会を成功に導くため

にスローガン『学童の現状を伝え、理解と協力を広げよう』を決め、さまざまな取り組みの検討と準備を開始しています。次号より、研究集会の中身についてお知らせします。

	日程	曜日	実行委員会の内容
①	5 月 10 日	日	体制、記念講演講師、スケジュール
②	6 月 14 日	日	目的(地元力点)検討、分科会検討
③	7 月 26 日	日	内容確認、企画提案
④	9 月 6 日	日	自治体後援、歓迎行事企画、係分担説明
⑤	10 月 4 日	日	係分担、企画検討、分科会検討